

2025 Annual Report

一般社団法人そばくりラボ | 2025年度 活動報告書



協働の力で一隅を照らせ！

ソーシャルアントレプレナーシップで人に優しく創造的な社会へ



目次

・ 2025年度活動概要	1
・ 2025年度のあゆみ・トピックス	2
・ かしぞう企画	3
・ 魔女プロジェクト	4
・ そばくり博覧会	5
・ 活動に対する声や満足度	6
・ 協賛企業の皆さま	7
・ 会計報告	8
・ 団体概要，ご支援のお願い	10



2025年度 活動概要

2025年度も、そばくりラボは、厚いご支援のもとで、下記の3本柱の活動を展開することができました。学生たちを中心に、大学・企業・地域の様々な組織の方々と「ソーシャル・アントレプレナーシップと協働」について考え、実践することができました。

活動5年目となる今年度は、2026年2月に「第7回 関西SDGsユースアクションアワード2025」のSDGs教育部門において「ベストアクション賞」をいただきました。これまでの活動を支えてくださった皆さまのおかげです。2026年7月には設立5周年を迎えます。今後もより多くの方々との学び合いを通じて、協働の可能性を体感し、新しい価値創造の活動を推進してまいります。

8

チーム
かちぞうzemi
(3大学4ゼミ×8社)

4

プロジェクト
魔女プロジェクト
(横山ゼミ11期生)

12

チーム
第4回そばくり博覧会
(5大学7ゼミ)

7

社
協賛企業
(2025年度)



かちぞう企画

「ソーシャル・アントレプレナーシップ
& 協働」醸成事業

より良い社会に向けて新たな価値を創造する取り組みを目指し、関わる人々にソーシャル・アントレプレナーシップと協働の発揮を体験してもらいます。



魔女プロジェクト

ソーシャルビジネスの運営事業

ソーシャル・アントレプレナーシップと協働の具現化として、ソーシャルビジネスを運営していきます。またソーシャルビジネスの運営サポートを行います。



そばくり博覧会

「ソーシャル・アントレプレナーシップ
& 協働」の発掘調査・創造事業

ソーシャル・アントレプレナーシップを発揮した社会的価値創造型「協働」を発掘調査・創造して共有するために「そばくり博覧会（そばくり博）」を実施します。

2025年度のあゆみ・トピックス

2025年5月23日・30日	魔女 横山ゼミ11期生 魔女プロジェクト キックオフ（協働企業による課題提示，学生ピッチとチーム編成）
2025年6月8日	かちそう 第11回かちそうzemi キックオフ・ミーティング（関西大学梅田キャンパス，計78名）
2025年6月29日	そばくり博 第4回そばくり博覧会 中間発表会（Zoom／12チーム）
2025年7月12日	魔女 介護班・日比谷花壇班が北海道大学での全国研究交流ゼミ中間報告会で発表
2025年10月4日	事務局 日本マネジメント学会 第92回全国研究大会「学生ランチョンセミナー」で横山ゼミ生3名が報告
2025年10月15日～17日	魔女 アラオ班がCareTEX大阪に出展（44の企業・団体が来訪）
2025年10月25日・26日	かちそう かちそうzemi 中間報告会（京都：京都産業大学／大阪：関西大学梅田キャンパス）
2025年12月7日	かちそう 第11回かちそうzemi 最終報告会（関西大学梅田キャンパス）
2026年1月11日	そばくり博 第4回そばくり博覧会2025 最終発表会（関西大学梅田キャンパス）
2026年2月21日	事務局 「第7回 関西SDGsユースアクションアワード2025」SDGs教育部門 ベストアクション賞受賞

関西SDGsユースアクションアワード2025で「ベストアクション賞」を受賞

そばくりラボは，関西SDGsユースアクションが主催する「第7回 関西SDGsユースアクションアワード2025」のSDGs教育部門において，審査員による動画審査を経て「ベストアクション賞」に選ばれました。表彰式は2026年2月21日，グラングリーン大阪 北館 Blooming Campにて行われました。

かちそう企画・魔女プロジェクト・そばくり博覧会の3本柱で，学生が企業や地域の方々と協働しながら社会課題に取り組んできた活動が評価されたものです。



表彰式の様子（2026年2月21日）

学会・学外での発表



日本マネジメント学会 学生ランチョンセミナー



北海道大学での全国研究交流ゼミ中間報告会

日本マネジメント学会では「産学連携プロジェクトで価値創造チャレンジ：そばくりラボの活動に参加して」と題し，テーマ設定から社会的価値の実現に至るまでの紆余曲折の過程と学びを，学生自身が報告しました。

かちぞう企画（かちぞうZEMI）



産学連携かちぞうZEMIとは？

産学連携で価値創造にチャレンジする，実践的なPBL（Project Based Learning）活動です。

第11回となる2025年度のかちぞうZEMIには，京都産業大学（柴野ゼミ・森口ゼミ），近畿大学（金ゼミ），関西大学（横山ゼミ）の3大学4ゼミから8チームが参加し，8つの連携組織の皆さまと半年間にわたり価値創造のための調査研究と提案活動に取り組みました。中間報告会は京都・大阪の2会場で開催し，最終報告会では，プロトタイプ制作にまで踏み込むチームが増えるなど，年々レベルが上がっています。ご協力いただいた皆さまに，心より御礼申し上げます。

ゼミ（大学）	連携組織	最終報告テーマ
横山ゼミ（関西大学）	株式会社TRUST Relation	おばあちゃんの目分量レシピ絵本
横山ゼミ（関西大学）	株式会社コンピュータ技研	たびーる
金ゼミ（近畿大学）	株式会社明成孝橋美術	キャラクター×生成系AI：悩み相談型Chat
金ゼミ（近畿大学）	コクヨマーケティング株式会社	位置情報サービスと消耗品管理システム
森口ゼミ（京都産業大学）	IKIGAI WORKS株式会社	日本人の熱意を解き放つ！IKIGAIイノベーション
森口ゼミ（京都産業大学）	えむすび株式会社	100年後から「ありがとう」と言われる採用
柴野ゼミ（京都産業大学）	三嶋商事株式会社	腎臓を守る食の力
柴野ゼミ（京都産業大学）	株式会社グランディユー	ヴィーガンスイーツ

■ キックオフミーティング：2025年6月8日(日)

関西大学梅田キャンパス8Fホール（学生51名・教員5名・企業14名・運営8名 計78名）

■ 中間報告会：2025年10月25日(土) 京都産業大学

2025年10月26日(日) 関西大学梅田キャンパス

■ 最終報告会：2025年12月7日(日)

- ・開催場所：関西大学梅田キャンパス8Fホール
- ・審査員：金井一頼氏（大阪大学名誉教授，審査委員長）
在間敬子氏（京都産業大学学長）
吉野忠男氏（大阪経済大学教授）
佐々木研氏（CH代表）
玉井由樹氏（近畿大学教授）



キックオフミーティング



中間報告会（大阪）

賞	受賞チーム
グランプリ	横山ゼミ × 株式会社TRUST Relation 「おばあちゃんの目分量レシピ絵本」
準グランプリ	金ゼミ × 株式会社明成孝橋美術 「キャラクター×生成系AI：悩み相談型Chat」
敢闘賞	森口ゼミ × IKIGAI WORKS株式会社 「日本人の熱意を解き放つ！IKIGAIイノベーション」



最終報告会

魔女プロジェクト



魔女プロジェクトとは？

学生たちが、魔女のように、社会的課題に魔法をかけて、関わる人々を笑顔にするプロジェクトです。

2025年度は、関西大学商学部横山ゼミ11期生が、多彩な組織の皆さまのご協力を得て、4つの魔女プロジェクトに約1年間取り組みました。5月のキックオフでは協働企業の皆さまから事業概要と課題をお聞きし、学生が自らの関心と強みに基づいてプロジェクトを選びました。

◆ スイーツ班「co-sweetive」

株式会社ドリームエクステンジ（スイーツ工房フォchetta）、株式会社ネクスタ

「人とのつながりの希薄化」という社会課題に向き合い、ディップソースに浸して食べる体験型チーズケーキのブランド「DIP ME」を企業と共に立ち上げました。2026年1月に試食会（30～50代女性12名）を開催し、プロモーション動画やブランドガイドブックも制作。2026年6月から販売を開始しています。



キックオフ（2025年5月23日）



スイーツ班「co-sweetive」

◆ アラオ班「介護に安心安全を」

アラオ株式会社

介護施設5件への訪問・ヒアリングと、アラオ株式会社との計8回の会議を重ね、介護用品の試作と改良を繰り返しました。CareTEX大阪（10月15日～17日）に出展して44の企業・団体の来訪を受け、3商品の製品化とカタログ掲載を実現しました。

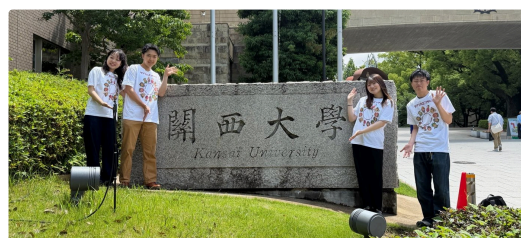


アラオ班

◆ 介護イノベーションプロジェクト班

株式会社明成孝橋美術、株式会社エナジスト、株式会社ビオネスト、NTT西日本、シェアフル株式会社

「介護をもっと身近に」をテーマに、施設での利用者交流やレクリエーション企画、高齢者向け商品の開発に取り組みました。大阪ヘルスケアビジネスコンテスト2025のファイナリストに選出。活動は「ケアフルエンサーズ」として後輩たちに引き継がれています。



介護イノベーションプロジェクト班

◆ 花とWell-being班「花と挑戦の芽を育む30日間チャレンジ」

株式会社日比谷花壇

日本人の主観的Well-beingの低さを課題と捉え、植物の栽培と個人の挑戦を組み合わせた30日間のプログラムを企画・実行。クラウドファンディングで資金を集め、参加者のWell-beingの変化を前後比較調査で検証しています。



花とWell-being班

そばくり博覧会



より良い社会を目指した「協働」を
拾い上げ・集め・皆で学び・志を育て
次のアクションへと促そう！

そばくり博覧会とは？

「ソーシャル・アントレプレナーシップと協働」, 「社会的価値創造に向けての協働」について, 皆で楽しく学びあう博覧会です。

第4回となる2025年度は, 中央大学, 東北大学, 金城学院大学, 愛知学院大学, 関西大学の5大学7ゼミから12チームが参加しました。6月の中間発表会 (Zoom) を経て, 2026年1月11日の最終発表会では, 社会課題解決に向けた協働の発掘調査 (マイニング部門) と協働プロジェクトの実践 (クリエイティブ部門) の成果が発表されました。1チーム10分の発表に続く8分間の質疑では会場から活発な質問が相次ぎました。運営を担っていただいた中尾悠利子先生 (関西大学) とゼミ生の皆さんをはじめ, 関わっていただいた多くの方々に厚くお礼申し上げます。

■ 中間発表会: 2025年6月29日 (日) Zoom開催 (12チーム: マイニング部門8・クリエイティブ部門4)

■ 最終発表会: 2026年1月11日 (日) 関西大学梅田キャンパス (KANDAI Me RISE) 8F

・ 講評: 小室達章氏, 砂川和範氏, 高浦康有氏, 津田秀和氏, 中尾悠利子氏, 平澤哲氏, 横山恵子氏

・ 運営: 中尾ゼミ (司会進行ほか), 横山ゼミ (懇親会ほか)

賞	受賞チーム
最優秀賞	愛知学院大学 津田講座チーム 頑張るチーム
優秀賞	関西大学 横山ゼミ アラオ班
ユニーク賞	愛知学院大学 津田講座チーム 頑張るチーム
プレゼンテーション賞	関西大学 横山ゼミ Co-sweetive
ディスカッション賞	愛知学院大学 津田講座チーム 頑張るチーム
学生オーディエンス賞	愛知学院大学 津田講座チーム 頑張るチーム
教員オーディエンス賞	関西大学 横山ゼミ Co-sweetive

奨励賞 (全12チーム)

フードセーフティ共創賞: 中央大学 平澤ゼミ 野菜レスキュー隊/学びを支える共助賞: 関西大学 中尾ゼミ スモールスマイル/ワークイノベーション賞: 愛知学院大学 津田講座チーム Palette/地域課題解決賞: 中央大学 砂川ゼミ/社会参画デザイン賞: 金城学院大学 小室ゼミ 子どもチーム/安心・安全推進賞: 関西大学 横山ゼミ アラオ班/食とこころの居場所賞: 東北大学 高浦ゼミ/隠れた困窮者可視化賞: 中央大学 平澤ゼミ SMILE SEED/日常行動創出賞: 愛知学院大学 津田講座チーム 頑張るチーム/現代適応型文化賞: 金城学院大学 小室ゼミ マイニング/支援拡大Web活用賞: 関西大学 中尾ゼミ 課題瀬死/学生発商品化賞: 関西大学 横山ゼミ Co-sweetive



最優秀賞



優秀賞

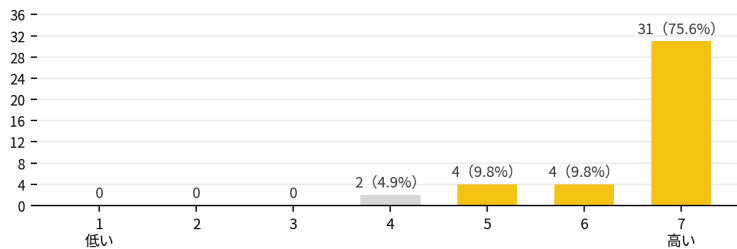


最終発表会後の懇親会

活動に対する声や満足度

各事後アンケートの7段階評価（1＝低い～7＝高い）。黄色は5～7の回答。

かちぞうzemiの総合満足度は？ 参加学生の声（n=41） 5以上が95.1%

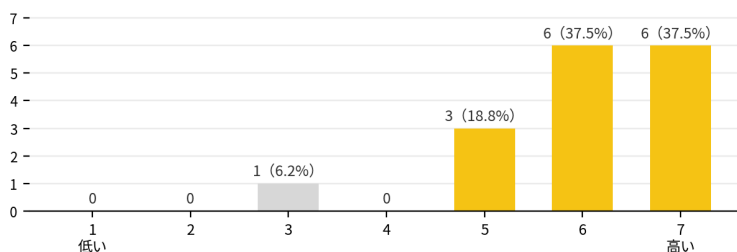


協働させていただく企業さんに何度も訪問し、コミュニケーションを重ねることの大切さを学ぶことができた。

半年間じっくり企業の方と産学連携できる機会はなかなかないと思うので素晴らしいと感じた。

協賛企業それぞれがどんな会社なのか、説明があればいいなと思いました。

かちぞうzemiの総合満足度は？ 社会人の声（n=16） 5以上が93.8%

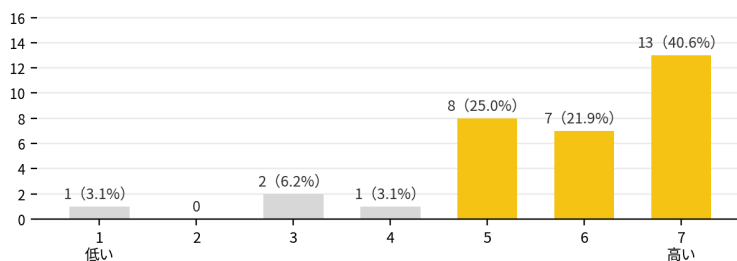


学生とともに企業も成長と新たなチャレンジができた。継続していく中で、社会課題解決につながったと思った。

学生達の6ヶ月の成長を見て感動した。

学生へのスケジュール共有を誰が担うのか、明確化した方が良い。

そばくり博覧会を後輩に薦める？ 参加学生の声（n=32） 5以上が87.5%

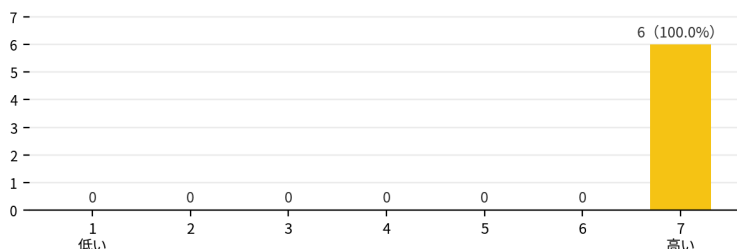


学生だからこそできる社会課題に対するアプローチが沢山あるということを学んだ。

小さな取り組みだったかもしれないが、自分たちの行動が誰かを幸せにできることに気づけた。

最優秀・優秀賞以外のチームも、目に見える形で評価されてほしい。

そばくり博覧会に来年も参加したい？ 指導教員の声（n=6） 全員が「7」



社会課題は誰かによりそってこそ解決できるのだと、改めて気づくことができました。

他大学のゼミとの交流の機会になった。

外部への周知・公開情報の整備。

※ かちぞうzemi：2025年12月7日最終報告会後の事後アンケート（社会人は連携事業者・指導教員のうち当該設問への回答者）。そばくり博覧会：2026年1月11日最終発表会後の事後アンケート。自由回答は趣旨を損なわない範囲で一部要約しています。

協賛企業の皆さま

■ 協賛企業（7社）



今年度も、多くの方々から様々なご支援や応援を賜りました。

そばくりラボの活動にご賛同・ご支援くださり、

様々な形でご協力くださった全ての皆様に

心よりお礼を申し上げます。

決算報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

一般社団法人そばくりラボ

貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金	77,199		
流動資産合計		77,199	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			77,199
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			306,235
当期正味財産増減額			△ 229,036
正味財産合計			77,199
負債および正味財産合計			77,199

2025年度の収支の概況

経常収益は468,000円で、全額が会費収入（正会員180,000円，法人会員288,000円）です。法人会員の増加により会費収入は前年度から60,000円増えた一方，講師料等の事業収益がなかったため，経常収益全体では16,750円の増加となりました。一方，経常費用は697,036円（事業費625,518円，管理費71,518円）となりました。かちぞうzemi・そばくり博覧会の各イベント（いずれも参加費の徴収なし）の会議費や，協働事例のテーブル起こし（諸謝金）など事業の充実に伴う支出が増えたため，当期の正味財産は229,036円の減少となり，期末の正味財産は77,199円となりました。

次年度以降も活動を継続・発展させていくために，引き続き会員の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	468,000	408,000	60,000
正会員	180,000	288,000	△ 108,000
法人会員	288,000	120,000	168,000
受取寄付金	0	0	0
受取助成金	0	0	0
事業収益	0	43,000	△ 43,000
販売収益	0	0	0
講師料	0	43,000	△ 43,000
雑収入（受取利息）	0	250	△ 250
経常収益計	468,000	451,250	16,750
(2) 経常費用			
事業費	625,518	379,400	246,118
原材料費	0	0	0
外注工賃	0	0	0
通信運搬費	1,590	17,820	△ 16,230
消耗品費	42,474	50,554	△ 8,080
旅費交通費 ^{注1}	144,101	114,860	29,241
広告宣伝費	0	10,000	△ 10,000
印刷製本費	0	6,600	△ 6,600
会議費 ^{注2}	330,581	178,841	151,740
諸謝金 ^{注3}	63,264	0	63,264
振込手数料	0	725	△ 725
接待交際費	33,000	0	33,000
雑費	10,508	0	10,508
管理費	71,518	57,449	14,069
通信運搬費	1,860	18,528	△ 16,668
消耗品費	8,800	0	8,800
旅費交通費	36,000	0	36,000
広告宣伝費	0	10,000	△ 10,000
交際費	18,945	25,004	△ 6,059
租税公課	0	35	△ 35
雑費	5,913	3,882	2,031
経常費用計	697,036	436,849	260,187
当期経常増減額	△ 229,036	14,401	△ 243,437
2. 当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 229,036	14,401	△ 243,437
一般正味財産期首残高	306,235	291,834	14,401
一般正味財産期末残高	77,199	306,235	△ 229,036
II 指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	77,199	306,235	△ 229,036

注1：旅費交通費には、周南公立大学関係、審査員交通費等を含みます。

注2：会議費（いずれも参加費徴収なし）の主な内訳：かちぞうzemi（キックオフ、中間報告会〈大阪・京都〉、最終報告会の計）162,985円、そばくり博覧会懇親会（1回）104,677円。

注3：諸謝金は協働事例のテープ起こし費用です。

団体概要

一般社団法人 そばくりラボ

設立日：2021年7月

所在地：大阪府

WEBサイト <https://sobakuri.com/>

メンバー

代表理事：横山恵子（関西大学教授）

理事：佐々木利廣（京都産業大学 名誉教授，かちぞうゼミ会長）

理事：藤野正弘（一般財団法人藤野家住宅保存会 理事長）

理事：山崎恵美子（認定NPO法人日本ファンドレイジング協会東海チャプター共同代表）

監事：牧文彦（NPO法人Deep People理事長）

名誉顧問：金井一頼（大阪大学名誉教授）

名誉顧問：岸田眞代（元NPO法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事）

事務局長：林祐美

運営委員：面高俊文（元デンソーユニティサービス代表取締役社長）／大友康博／小室達章（金城学院大学教授）／津

田秀和（愛知学院大学教授）／高浦康有（東北大学准教授）／平澤哲（中央大学教授）／福原康司（専修大学教授）／

水野真由美（NPO法人子ども＆まちネット理事長）／日向寺祥子（東海大学准教授）／園田由紀子（東海大学講師）

ご支援のお願い

私たちの活動は、様々な会員の皆さまのご支援に支えられています。そばくりラボは、あらゆる現場でさまざまなレベルで「ソーシャル・アントレプレナーシップ・チャレンジ」が生まれる社会、多様性と豊かな協働が育まれる社会を目指して活動しています。

会費は、活動趣旨に係る活動への支援や当法人の活動継続、この分野の研究発展に活用させていただきます。私たちの活動趣旨にご賛同いただき、ぜひ仲間になってくださいますと光栄です。

■ 会員制度 ＊期間は4月～3月までの1年間です。

・会費 1口 12,000円

・種別 「正会員」（個人）1口以上／「学生会員」（生徒・学生）なし／「法人会員」（企業や法人等）3口以上

■ 会員の方には、各種イベントのご案内、年1回の活動報告書、魔女プロジェクト商品をお送りいたします。

■ お申し込みについて

そばくりラボWEBサイトのお問合せフォームより、入会希望と記載いただきご連絡ください。担当者より申込書をお送りいたします。